

表3 専門薬剤師要件(案)と各専門薬剤師との比較(新規申請)

仮称：第三者機関認定専門薬剤師の要件案		医療薬学会 がん専門	JASPO 外来がん専門	日病薬 感染制御専門	日病薬 HIV感染症専門	日病薬 精神科専門	日病薬妊婦・ 授乳婦専門
1) 薬剤師としての実務経験	5年以上	○	○	△(認定薬剤師で3年以上)	△(認定薬剤師で3年以上)	△(認定薬剤師で3年以上)	△(認定薬剤師で3年以上)
2) 必要な資格・称号	日病薬病院薬学認定薬剤師、JPALSのCL5以上 CPC認証の生涯研修認定制度の認定薬剤師	○	○	○ (下位の認定薬剤師かICD)	○ (下位の認定薬剤師)	○ (下位の認定薬剤師)	○ (下位の認定薬剤師)
3) 専門領域の研修	研修施設でのカリキュラムに沿った研修(5年間)	○	△ (30単位の研修)	△(認定薬剤師で3年以上の活動歴必要)	△(認定薬剤師で3年以上の活動歴必要)	△(認定薬剤師の場合に3年以上の活動歴必要)	△(認定薬剤師の場合に3年以上の活動歴必要)
4) 専門領域の講習会等の履修	必要	○	○	○	○	○	○
5) 専門領域の活動(症例報告等)	必要(下位の認定薬剤師の場合には△)	○(50症例)	○(10症例)	△(認定薬剤師で20症例)	△(認定で10症例)	△(認定で30症例)	△(認定で15症例)
6) 認定試験の合格	必要(下位の認定薬剤師でもOK)	○	○	○	○	○	○
7) 学会発表と論文	専門領域の学会発表2回(筆頭1回以上)と、筆頭論文1編	△(いずれかでない)	×	○	○	○	○ (発表3回、筆頭論文1編)
最新の認定者数		667名(2020.1.30現在)	0名(2021.1.30現在)	285名(2020.4.1現在)	27名(2020.4.1現在)	46名(2020.1.1現在)	12名(2020.4.1現在)
備考(各学会からのコメント等)		・上位の指導薬剤師あり ・病院薬剤師で唯一の広告できる専門制度 ・2020年度から医療薬学会の各専門制度の要件を統一	・医療法の専門機関連携薬局に対応するため、2020年度に新設された。学会内で十分議論が尽くされていないこともあり、名称も含め今後更なる議論が必要である。				

仮称：第三者機関認定専門薬剤師要件案		医療薬学会 医療薬学専門	医療薬学会 薬物療法専門	医療薬学会 地域薬学ケア専門	腎臓病 薬物療法専門	医薬品情報専門	緩和医療専門
1) 薬剤師としての実務経験	5年以上	○	○	○	○	○	○(10年以上)
2) 必要な資格・称号	日病薬病院薬学認定薬剤師、JPALSのCL5以上、 CPC認証の生涯研修認定制度の認定薬剤師	○	○	○	×	×	○ (下位の認定薬剤師、病院薬剤師に限る)
3) 専門領域の研修	研修施設でのカリキュラムに沿った研修(5年間)	△(1年)	○	○	△(認定薬剤師として3年以上の活動歴必要)	△(医療情報に係る実務経験が通算5年以上)	○
4) 専門領域の講習会等の履修	必要	○	○	○	×	○	○
5) 専門領域の活動(症例報告等)	必要(下位の認定薬剤師の場合には△)	○(10件)	○(50症例)	○(50症例)*	△(認定薬剤師で30症例)	○(教育、勤務実績10件)	○(10症例)
6) 認定試験の合格	必要(下位の認定薬剤師でもOK)	○	○	○	○(認定)	○	○(口頭試問)
7) 学会発表と論文	専門領域の学会発表2回(筆頭1回以上)と、筆頭論文1編	○ (発表2回、論文2編(うち筆頭1報以上))	△(いずれかでない)	△(いずれかでない)	○ (発表5回、論文3編(うち1編は筆頭))	○	○
最新の認定者数		1,609名(2021.1.7現在)	41名 (2020.1.30現在)	暫定67名 (がん)155名(2021.2.1現在)	20名(2020.9現在)	73名(2021.1.1現在)	未認定
備考		・上位の指導薬剤師あり、873名(2021.1.7現在) ・2020年度に医療薬学認定から規定変更 ・本専門制度は、大学に勤務する臨床系教員も対象としており、研修期間は1年と短い。	・上位の指導薬剤師あり、34名(2021.1.7現在) ・2020年度から医療薬学会の各専門制度の要件を統一	・*副領域がんの場合は+20症例(がん)必要 ・2020年度新設	要件としては、指導薬剤師に近いもの	学術要件が不要の認定薬剤師制度の創設について現在検討中	・上位の指導薬剤師あり(未認定) ・同領域の医師・看護師に引き目を取らないよう、要件をかなり厳しく設定している。 ・専門性資格の広告を旨とする。